

「鎮守の森の文化(祭り芸能)」を見つめ直そう シンポジウムと杉沢比山鑑賞会 (国重文指定)

平成31年

日時

2/23 土

13:30～16:30

場所

山形国際ホテル(山形市)

入場無料



開催趣旨

鎮守の森とは、集落の産土神等が鎮座する神社の森のことである。その森ではお祭りを中心に、伝統の行事や芸能などが行われ、近くに住む人々が交流をあたためる場となり、数々の地域文化が育まれてきた。しかし、少子高齢の波が急激にこの森にも押し寄せ、そこに集まる人々はめっきり少なくなり、それらの文化が危うい状態となっている。そこで伝承文化の意義を見つめ直して、今後どう継承・発展させていけばよいのかシンポジウムや鑑賞会をとおして考える。

◆ 講演「日本の祭り行事－鎮守の森のコミュニティー」

国学院大学神道文化学部教授

茂木 栄氏

◆ シンポジウム「鎮守の森の文化を語る」

[シンポジスト] 湯殿山神社宮司 (山形市) 渋谷 宣寛氏

安久津八幡神社文化財保存会会長 (高島町) 島津 好一氏

若宮八幡神社氏子代表 北の宿区長 (東根市) 天野 好美氏

[アドバイザー] 茂木 栄氏

[コーディネーター] 伝承文化支援研究センター 副センター長 角屋由美子氏
(米沢市上杉博物館学芸員)

◆ 杉沢比山鑑賞会(国指定重要無形民俗文化財)

遊佐町杉沢熊野神社奉納芸能：演目「三番叟」「景政」「狸々」



安久津八幡神社(拝殿)



杉沢比山：景政



杉沢比山：狸々

タイムスケジュール

13:30～13:40	開会 挨拶・講師紹介
13:40～14:30	講演 「日本の祭り行事－鎮守の森のコミュニティー」
14:40～15:40	シンポジウム 「鎮守の森の文化を語る」
15:50～16:30	杉沢比山鑑賞会 (国指定重要無形民俗文化財)
16:30	閉会

問合わせ先

伝承文化支援研究センター

事務局長 遠藤 正明

TEL:023-695-2126 FAX:023-695-2529

e-mail : masaaki@yamadera.co.jp



平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金
文化庁 (文化遺産総合活用推進事業)

